



平成 21 年 12 月 18 日(金)
第5回東北風景街道協議会編

12月18日、第5回東北風景街道協議会が仙台市のエルパーク仙台にて行われました。当 NW からには能登祐子会長・渡辺千明准教授と佐藤康弘(国交省能代河川国道事務所)が参加しました。主なプログラムは下記のとおりです。

- 東北風景街道協議会の会長選出
- 新規申請3団体の審査について
- パートナーシップにおける自己分析と一般の方々を対象としたアンケート調査について
- パートナーシップからの活動報告

最初に協議会の会長選出を行い、再選された藤崎会長より「H19年に会がスタートし、選挙により民主党に政権が移り、担当の国土交通省さんも事業仕分けにより「箱物から人」という言葉で様々な問題がでてきているが、あくまでも地域に前からある様々な資源・資産、伝統・文化を見直し、掘り起こしていこうという事業なので、多分、仕分けからは外れているだろうと思っています。皆さん安心してこの活動を進めていただきたい。」と、今後の活動に希望？の見える挨拶をいただきました。

次にアンケート調査の結果説明がありました。パートナーシップの成熟度は、東北地方では「自立している」の回答は0%(全国では107箇所の内3%)で、「継続化を目指している段階」が多くなっています。また、活動上の課題は「資金」「人員不足」「広報・PR」となっており、当白神NWと同様の課題を他団体も抱えていると感じました。

東北地区16のパートナーシップは、昨年度の協議会等からのアドバイスを踏まえ①平成21年度の活動計画の反映したこと②反映できない状況に対する今後の方針について報告しました。

能登会長は、①は「のしろまち灯り」や「手這坂に関する補修保全」関連の広報を充実させたことについて新聞記事等で説明されました。また②の眺望のポイントやポケットパークの設置は、今後の勉強会を通じて効果的な位置を決定し、実施していく予定と説明されました。「のしろ白神の道」が東北地方で登録第1号のため、発表が一番最初で緊張されて



会場全景



当NWは東北で登録第1号のため、いつものとおり最前列です。



再選された藤崎会長(東北経済連合会副会長)からの挨拶



当NWから能登会長による活動報告



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

いましたが、制限時間 4 分をきっちり守り、解りやすく説明されていました。なお、その後の他団体の説明が長くなり、質疑応答の時間があまりとれなかったのが残念と感じました。

最後に委員の方々よりお話がありました。

○資金：間庭委員（東北六県商工会議所連合会常任理事）

資源の発掘や地域連帯でもう少し意識してほしいのが、大きな意味での「経済との循環」関係。歴史・自然もちろん大切であるが「花より団子」という言葉もあるように、その地域の食、産業などその土地で営んでいる産業、資源の発掘をし、広い意味での経済の循環も是非図ってほしい。それにより人の連携も広がり、経済的な面からも豊かになっていくと思う。また、若い人を視野に入れてずっとやり続けることで担い手の育成もでき、まちの誇りを育てていくことができる。

○人材育成：宮原委員（宮城大学事業構想学部教授）

地域活動を続けていくには、どのようにしたら良いのか？全国的にも人がどんどん少なくなり、地域主体でやっているところでは今後更に高齢化し、新しく入ってくる人を見つけることが難しい状況になる。これからは新しい方、特に外の方との関係を活発に築き、地域で少しでもお手伝いをしてもらい、お客様としてではなく積極的に働いてもらうことが重要となる。ルートが長い箇所は地域で連携し、資源が多彩な箇所は地区毎に活動範囲を決めるのではなく、テーマを決めて広域で活動してもらう人達を作るような横の繋がりがあがるプログラムが重要となる。

○広報・PR：鈴木委員（河北新報社営業本部 事業部事業部長）

情報発信はホームページや観光パンフの作成だけでなく、いかにマスコミに取り上げてもらうかが極めて重要。情報として取り上げてもらうためには、伝えるべきことをきちんと伝えているか？伝えたいこと、書いてもらいたいことをどのくらい戦略的に伝えるか？が重要である。

今回会議に参加して、他団体の色々な活動や委員から色々な視点でのアドバイスを参考にしながら、今後の白神NWの活動に活かして行きたいと思いました。能登さん、数多くの委員や参加者の前での発表お疲れさまでした。発表の時間や内容は完璧でしたよ。次回もお願いします。

文：佐藤 康弘

感想

東北風景街道協議会は既に第 5 回目の開催というのに、初めて出席させていただきました。いつも能代河川国道事務所担当者（佐藤さん）や事務局の佐々木・渡辺先生にお任せの役に立たない代表で申し訳なく思う日々です。

今回は基調講演も懇親会もなく、比較的シンプルな会議でしたが、新規申請 3 団体の審査や各パートナーシップからの活動報告、平成 21 年度活動計画を聞き、「地活」に燃える同士たちのメッセージに大変刺激を受けました。ただ、資料を見ると幾つかの団体の「平成 21 年度の活動計画には反映できない状況に対する今後の方針」欄が空欄であることが気になりました。

皆さん熱い想いが強く、終了時間が大幅に過ぎてしまいましたので、私は中座することになってしまいましたが、会津若松の視察でお世話になった庄司さんや山口さんにお会いでき、とても嬉しかったです。

風景街道事業はまだ3年あまりのヨチヨチ歩きです！この事業が来年度も継続されることを切に願うばかりです。佐藤さん、渡辺先生、ありがとうございました。

能登 祐子